

SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度選定

山口県宇部市

2021年8月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

宇部市 SDGs未来都市計画
「人財が宝」みんなでつくる宇部SDGs推進事業
～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～

-

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

宇部市 SDGs未来都市計画 「人財が宝」みんなでつくる宇部SDGs推進事業 ～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～

(2) 2030年のあるべき姿

～魅力・活力・「人財」にあふれた「共存同栄・協同一致」のまち～

- 産業活動が活発に行われ、やりがいのある働く場が創出されています。
- まちはにぎわい、文化は薫り、子どもから高齢者まで誰もが輝いています。
- 地域には、ともに助け合う、安心・安全で豊かな生活があります。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	事業化・創業実現件数（累計） 【8.2,8.3,8.5,8.9】	新規事業のためデータなし	2020年 114 件	2030年 390 件	29%
2	多様な働き方確保支援センターにおける就職マッチング件数（累計） 【8.2,8.3,8.5,8.9】	新規事業のためデータなし	2020年 126 件	2030年 360 件	35%
3	観光客数（万人/年） 【8.2,8.3,8.5,8.9】	2018年3月 160 万人	2020年 109 万人	2030年 230 万人	-73%
4	ICT・IoTなどの新技術の活用・導入件数（累計）【9.b】	2018年3月 13 件	2020年 99 件	2030年 320 件	28%
5	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（中学3年生）【1.2,1.4】	2018年3月 49.6 %	2020年 文部科学省 全国学力・学習状況調査の中止により算出不能	2030年 61.8 %	判定不能
6	地域福祉総合センターの設置数（累計）【3.8】	新規事業のためデータなし	2020年 15 箇所	2030年 15 箇所	100%
7	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指標） 【4.1,4.4,4.7】	2017年 小学校 97.1 中学校 102.9	2020年 文部科学省 全国学力・学習状況調査の中止により算出不能	2030年 小学校 103.0 中学校 105.0	判定不能
8	女性活躍推進企業認証数（累計）【5.1,5.2,5.5,5.b,5.c】	2018年3月 79 社	2020年 173 社	2030年 370 社	32%
9	障害がある人にとって宇部市が暮らしやすいまちだと思う人の割合【10.2】	2017年 35.0 %	2020年 49.7 %	2030年 90.0 %	27%
10	中心市街地の休日1日当たりの通行者数【11.2,11.3,11.a】	2016年、2017年平均 14,617 人	2020年 7,773 人	2030年 16,700 人	-329%
11	地域計画に基づく新たな取組支援数（累計）【11.2,11.3,11.a】	2018年3月 5 件	2020年 83 件	2030年 138 件	59%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
12	国際環境協力における研修生受入数（累計）【6.5】	2018年3月 693 人	2020年 773 人	2030年 1,083 人	21%
13	公共施設への太陽光発電設備導入箇所数（累計）【7.2】	2018年3月 39 箇所	2020年 44 箇所	2030年 50 箇所	45%
14	バイオマスを活用した事業創出件数（累計）【9.4】	2018年3月 4 件	2020年 7 件	2030年 16 件	25%
15	中心市街地の緑化・花壇等整備面積（累計）【11.7】	2018年3月 1,000 m ²	2020年 2,001 m ²	2030年 7,300 m ²	16%
16	1人1日あたりのごみ排出量【12.5,13.3】	2018年3月 1,029 g	2020年 979 g	2030年 800 g	22%
17	アクトビレッジおの（自然環境教育拠点施設）で体験学習する人数（人/年）【14.1,15.4】	2014年 5,646 人	2020年 4,354 人	2030年 10,000 人	-30%

（5）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

指標3、17のマイナス実績や指標5、7の判定不能は、いずれも新型コロナウイルスの影響によるものである。今後、感染対策やオンラインを活用するなどして、実績値を伸ばしていく方法を模索している。

指標10も、大型商業施設の閉店等に加え、コロナ禍において人流が減り、伸び悩んでいるが、中心市街地活性化基本計画に基づき、都市機能や居住機能の誘導を図るとともに、「居心地が良く歩きたくなる」まちづくりに取り組み、にぎわい溢れるまちなかの創出を図っていく。

一方で、「うべ産業共創イノベーションセンター 志」での、ワンストップ就労相談や職業紹介、創業に係るセミナーや育成プログラムの実施といった起業・創業支援はコロナ禍においてもオンラインを活用するなどして推進し、指標1や指標2は順調に推移している。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
1	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	事業化・創業実現件数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 43 件	2019年 90 件	2020年 114 件	2020年 100 件	114%
2	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	コミュニティビジネス創出支援数（累計）	2018年3月 11 件	2018年 14 件	2019年 17 件	2020年 15 件	2020年 17 件	67%
3	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	新規農林業就業者数（累計）	2018年3月 32 人	2018年 37 人	2019年 42 人	2020年 50 人	2020年 43 人	164%
4	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	遊休農地（220ha）の解消率（累計）	2018年3月 新規事業のためデータなし	2018年 43 %	2019年 71 %	2020年 99 %	2020年 77 %	129%
5	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	多様な働き方確保支援センターにおける就職マッチング件数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 41 件	2019年 87 件	2020年 126 件	2020年 90 件	140%
6	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	ICT・IoT活用による社会的課題の解決件数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 12 件	2019年 17 件	2020年 22 件	2020年 18 件	122%
7	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	ICT・IoTなどの新技術の活用・導入件数（累計）	2018年3月 13 件	2018年 31 件	2019年 63 件	2020年 99 件	2020年 83 件	123%
8	観光産業の推進	観光客数（万人/年）	2018年3月 160 万人	2018年 170 万人	2019年 182 万人	2020年 109 万人	2020年 190 万人	-170%
9	観光産業の推進	外国人観光客数（千人/年）	2018年3月 16 千人	2018年 18 千人	2019年 11 千人	2020年 2 千人	2020年 21 千人	-280%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
10	観光産業の推進	本市における観光客の旅行消費額（億円/年）	2016年 112 億円	2018年 117 億円	2019年 123 億円	2020年 77 億円	2020年 126 億円	250%
11	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域福祉総合センターの設置数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 5 箇所	2019年 15 箇所	2020年 15 箇所	2020年 15 箇所	100%
12	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	ご近所ふれあいサロン箇所数（累計）	2018年3月 182 箇所	2018年 190 箇所	2019年 207 箇所	2020年 217 箇所	2020年 210 箇所	125%
13	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	校区 健康プランの達成数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 27.8 %	2019年 63.2 %	2020年 73.7 %	2020年 50 %	147%
14	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域計画に基づく新たな取組支援数（累計）	2018年3月 5 件	2018年 15 件	2019年 41 件	2020年 83 件	2020年 37 件	244%
15	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域内交通利用者数（人/年）	2018年3月 7,916 人	2018年 10,599 人	2019年 9,785 人	2020年 9,794 人	2020年 11,900 人	47%
16	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	プログラミング教室の開催校数	新規事業のためデータなし	2018年 6 校	2019年 14 校	2020年 24 校	2020年 18 校	133%
17	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を身につけた生徒の割合	2018年3月 40.0 %	2018年 44.8 %	2019年 45.9 %	2020年 40.7 %	2020年 47.0 %	10%
18	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	環境教育プログラム実施校数（累計）	2018年3月 1 校	2018年 3 校	2019年 7 校	2020年 10 校	2020年 9 校	111%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
19	若者・女性の活躍推進	「このまま、または、いずれは宇部市で暮らしたい」と思う学生の割合	2018年3月 11.2 %	2018年 14.6 %	2019年 16.5 %	2020年 18.6 %	2020年 18 %	109%
20	若者・女性の活躍推進	「まちづくり」イベント・行事の企画・運営に参画した市民（高校生以上30歳未満）の人数	2018年3月 165 人	2018年 176 人	2019年 384 人	2020年 111 人	2020年 240 人	-72%
21	若者・女性の活躍推進	女性活躍推進企業認証数（累計）	2018年3月 79 社	2018年 120 社	2019年 132 社	2020年 173 社	2020年 170 社	103%
22	若者・女性の活躍推進	テレワーク導入事業者数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 3 社	2019年 4 社	2020年 36 社	2020年 9 社	400%
23	若者・女性の活躍推進	女性職場環境改善件数（件/年）	2018年3月 9 件	2018年 9 件	2019年 9 件	2020年 12 件	2020年 10 件	300%
24	共生社会ホストタウンの推進	障害がある人にとって宇部市が暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	2017年 35.0 %	2018年 37.6 %	2019年 37.8 %	2020年 49.7 %	2020年 68.0 %	45%
25	共生社会ホストタウンの推進	地域福祉総合センターの設置数（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 5 箇所	2019年 15 箇所	2020年 15 箇所	2020年 15 箇所	100%
26	共生社会ホストタウンの推進	公共（学校施設は除く）・民間施設のバリアフリー化工事件数（件/年）	2016年度 26 件	2018年 32 件	2019年 37 件	2020年 31 件	2020年 38 件	42%
27	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（小学6年生）	2018年3月 73.5 %	2018年 69.3 %	2019年 67 %	2020年 文部科学省 全国学力・学習状況調査の中止により算出不能	2020年 78.3 %	判定不能

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
28	子どもの貧困対策、 地域の見守り・支え 合いの推進	将来の夢や目標を持つ ている子どもの割合 (中学3年生)	2018年3月 49.6 %	2018年 49.3 %	2019年 47.1 %	2020年 文部科学省 全 国学力・学習状 況調査の中止 により算出不能	2020年 53.8 %	判定不能
29	子どもの貧困対策、 地域の見守り・支え 合いの推進	ご近所ふれあいサロン 箇所数(累計)	2018年3月 182 箇所	2018年 190 箇所	2019年 207 箇所	2020年 217 箇所	2020年 210 箇所	125%
30	ガーデンシティの推進	中心市街地の緑化・ 花壇等整備面積(累 計)	2018年3月 1,000 m ²	2018年 1,600 m ²	2019年 1,951 m ²	2020年 2,001 m ²	2020年 2,200 m ²	83%
31	ガーデンシティの推進	花・緑と調和した彫刻 設置計画の進捗率	新規事業のた めデータなし	2018年 33 %	2019年 66.7 %	2020年 78.0 %	2020年 75 %	104%
32	地域エネルギー・バイ オマス産業都市の推 進	公共施設への太陽光 発電設備の導入箇所 数(累計)	2018年3月 34 箇所	2018年 39 箇所	2019年 42 箇所	2020年 44 箇所	2020年 41 箇所	143%
33	地域エネルギー・バイ オマス産業都市の推 進	エネルギー利用のス マート化実証事業数 (累計)	2018年3月 2 件	2018年 2 件	2019年 3 件	2020年 4 件	2020年 5 件	67%
34	環境保全対策の推 進	国際環境協力におけ る研修生受入数(累 計)	2018年3月 693 人	2018年 743 人	2019年 773 人	2020年 773 人	2020年 783 人	89%
35	環境保全対策の推 進	1人1日当たりのごみ 排出量	2018年3月 1,029 g	2018年 1,008 g	2019年 994 g	2020年 979 g	2020年 872 g	32%
36	環境保全対策の推 進	民生部門からの温室 効果ガス排出量(千 トン-CO ₂ /年)	2005年 491 千トン	2018年 482 千トン	2019年 438 千トン	2020年 428 千トン	2020年 455 千トン	175%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
37	環境保全対策の推進	汚水処理人口普及率	2018年3月 90.8 %	2018年 91.4 %	2019年 91.7 %	2020年 92.1 %	2020年 91.6 %	163%
38	環境保全対策の推進	遊休農地（220ha）の解消率（累計）	新規事業のためデータなし	2018年 43 %	2019年 71 %	2020年 99.4 %	2020年 77 %	129%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「宇部SDGs推進センター」×「うべ産業共創イノベーションセンター 志」において、起業・創業や経営等に関する相談対応を行うとともに、市内外の事業者間の交流や産学公金が連携したセミナー、コンテストなどのプログラムを提供し、課題解決に取り組んでいる様々な主体の相互連携やビジネスチャンスの創出を図っている。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

指標8、9、10、20のマイナス実績や指標27,28の判定不能は、いずれも新型コロナウイルスの影響によるものである。今後、感染対策やオンラインを活用するなどして、実績値を伸ばしていく方法を模索している。【再掲】

一方で、「うべ産業共創イノベーションセンター 志」での、ワンストップ就労相談や経営改善支援、創業に係るセミナーや育成プログラムの実施、ビジネスプランコンテストの開催といった起業・創業支援はコロナ禍においてもオンラインを活用するなどして推進し、指標1,5,6,7は順調に推移している。【再掲】

また、指標24については、市民への障害に対する理解がまだ十分ではないと言えるため、今後も講演会や学習会を開催し、障害者理解を促進していく。指標26も、令和2年3月に策定した「宇部市バリアフリー化マスタープラン」により、移動円滑化促進地区に設定した地区については、助成率を1/2から2/3に上げることで、バリアフリー化を促進していき、障害のある人など誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを推進していく。

提案時のモデル事業については、①次世代を担う子どもたちを対象とした「せかい！動物かんきょう会議」（動物の視点で環境問題について考えることで、世界的・第三者的視点を育む教育プログラム）の開催、②「首都圏の大学と連携し、共生ホストタウンをテーマとしたフィールドスタディ」の実施、③「うべ産業共創イノベーションセンター 志」の設立、これら3つの取組により、「人材」を育成・創出し、自治体SDGsを推進していくというものであったが、平成30年度（2018年度）から始まった「動物かんきょう会議」は、毎年開催実績数が伸びてきている。共生ホストタウンをテーマとしたフィールドスタディも、平成30年度（2018年度）以降毎年武蔵野大学の学生を迎えて開催している（令和元年（2020年）は新型コロナ感染症対策のため中止）。また、令和2年6月に宇部SDGs推進センターやジョブスタ（多様な働き方確保支援センター）の機能を併設した「うべ産業共創イノベーションセンター 志」がオープンした。当センターの実績については、既出のとおり。

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・一番難しい経済面での成果が素晴らしい。統合的な取組を充実させられると更に良いと思料する。
- ・イノベーションセンターと連携するSDGs推進センターが情報発信、教育機会の創出に取り組んでいる点は評価できる。
- ・「国際環境協力における研修生受入」とあるが、この事業の主体や研修の対象及び研修項目などについて具体的に示されることが望まれる。
- ・KPIを幅広く掲げているが通常の行政活動に関するKPIも含まれているため、精査されることが望まれる。
- ・幅広い目標を設定しているが、事業の実装が進んでいない。具体的な事業につながらないことの要因とそこへの解決の取り組みのご検討状況の明示が望まれる。
- ・3年間の取り組みを通じて、実績が伸びている事業にしばって、第2期SDGs未来都市計画に再構築されることが望まれる。
- ・地域課題と地域資源を分析して明確なKPIを設定・管理できているが、経済・社会・環境の関連と相乗効果が全く見えないため、検討が必要である。